



## 2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月9日 東

上場会社名 株式会社スリーエフ 上場取引所  
 コード番号 7544 URL <https://www.three-f.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 浩志  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括 マネージャー (氏名) 六川 靖夫 TEL 045-651-2111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	10,500	△0.1	789	17.9	793	17.8	204	24.6
2024年2月期第3四半期	10,505	5.3	670	286.3	674	280.6	164	—

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 509百万円(25.9%) 2024年2月期第3四半期 404百万円(508.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	27.04	—
2024年2月期第3四半期	21.70	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	4,931	4,276	76.4
2024年2月期	4,987	4,164	72.9

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 3,766百万円 2024年2月期 3,638百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2025年2月期	—	5.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	△2.6	740	△18.7	745	△18.6	145	△33.3	19.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年2月期3Q	7,707,095株	2024年2月期	7,707,095株
2025年2月期3Q	132,723株	2024年2月期	132,703株
2025年2月期3Q	7,574,391株	2024年2月期3Q	7,574,392株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年3月1日~2024年11月30日)におけるわが国経済は、国内の人流活性化とインバウンド需要を背景に消費の回復傾向が続いておりましたが、円安やエネルギー・原材料価格の高止まり等による物価上昇の影響は依然として大きく、賃上げにもかかわらず実質賃金の伸びはゼロ付近を脱することができていないことから、個人消費の本格的な活性化が待たれる踊り場とも言える状況となっております。

コンビニエンスストア業界におきましては、さらにインバウンド需要が増加した一方、オーバーツーリズムなどからレジャーを控える動きもあり、売上は前年の伸長レベルから鈍化傾向にある中、労働力不足などから店舗運営コストの増加への対応が必要な厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは、加盟店と同じ目線で一塊となって経営を推進していくために、中長期経営計画(2021年2月期~2027年2月期)において、「個店平均日販」と「加盟店利益」の継続的な向上を最重要指標と定め、「個店最適化」と「加盟店経営の安定化」を重点戦略とした各種施策に取り組むとともに、お客様の利用動向への変化対応を続けながら、目標達成に向けた取り組みを進めております。

#### 当社グループ運営店舗の概況

##### [ローソン・スリーエフ]

株式会社エル・ディーエフが事業展開する「ローソン・スリーエフ」におきましては、人流の増加が鈍化する中でも来店客数が伸長したことで、「個店平均日販」は引き続き前年を上回る水準で推移しております。しかし、「加盟店利益」は、人件費や水道光熱費などの店舗運営コストの増加への対応が必要な状況となっており、コスト増に負けないさらなる売上向上策を推進しております。

運営面におきましては、加盟店の品揃え拡充や販売促進に対する経費支援を強化する中、ローソンチェーンのAIを利用した次世代発注システム「AI.CO」の活用強化を図り、競合店に対する比較優位な売場を実現するために、中食のさらなる売上向上に取り組んでおります。また、フードデリバリーサービスの導入店舗数は、262店舗に拡大しております。

商品面におきましては、人流の増加やローソンチェーンの積極的な販売促進活動により、カウンターファストフードや米飯、デザートなどの売上が伸長しました。ローソン・スリーエフ独自商品につきましても、アイテム数を拡充した「お総菜」やリニューアルした「やきとり」、「チルド弁当」や「もちぼによ」などの割引クーポン付きチラシを地域のお客様に配布すると同時に、ウェブ動画を活用した広告を初めて実施し、認知度を向上させることで、集客と売上拡大につながりました。

店舗開発におきましては、3店舗の新規出店、3店舗の閉店を行った結果、当第3四半期連結累計期間末の総店舗数は328店舗となっております。また、転換から7年を経過した店舗に対して、設備機能の改善等を目的とした改装を順次行っております。引き続き、収益改善が見込めない店舗のリロケートを行うとともに、お客様の利便性向上を目的とした駐車場拡張等のハード改善も推進してまいります。

##### [g o o z (グーツ)]

コンビニエンスストアに対するニーズの多様化に対応するため、当社が新型フォーマットとして事業展開する「g o o z (グーツ)」におきましては、行楽需要の高まりや周辺エリアのイベントなどを背景として来店客数が伸長したことにより、全店舗で日販が向上しております。

商品面におきましては、店内演出による“できたて感”の訴求強化や、お客様の利用動向の変化に合わせてお求めやすい価格帯の商品から高付加価値の商品まで幅広く品揃えを充実させたことが奏功し、グーツコーヒーやおにぎり、総菜などの店内調理品の売上が引き続き好調に推移しております。また、旗艦店であるg o o z いちよう並木通り店では、店内調理品として新たにカップおつまみや麺類を積極的に取り揃えたほか、グーツコーヒーコーナーにおいて、プレミアムタイプのアイスコーヒーや選べるアイ스티ーなどをラインアップに追加することで、潜在ニーズの深耕にも努めてまいりました。さらに、g o o z いちよう並木通り店では、グーツコーヒーの抽出時に出るコーヒーかすを地元横浜市内の協力先農園に提供し、堆肥として再利用することで栽培された青果を店内調理品の食材として使用する、循環型・持続可能な社会を目指した取り組みにも着手しております。

店舗開発におきましては、出店・閉店を行わず、当第3四半期連結累計期間末の総店舗数は3店舗となっております。なお、神奈川県平塚市のg o o z EXPRESS平塚PA店において2024年2月18日に火災事故が発生し、店舗の改修工事

を行っておりましたが、2024年8月10日より通常営業を再開しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業総収入は、105億円（前年同期比0.1%減）、営業利益は7億89百万円（前年同期比17.9%増）、経常利益は7億93百万円（前年同期比17.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億4百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は56百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少、未収入金、建物の増加等によるものであります。

負債につきましては、1億69百万円の減少となりました。これは主に未払金の増加、未払法人税等の減少等によるものであります。

純資産につきましては、1億12百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期連結業績予想につきましては、2024年9月20日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,075	3,941
商品	99	97
貯蔵品	0	0
前払費用	8	20
未収入金	198	224
その他	26	43
貸倒引当金	-	△3
流動資産合計	4,408	4,323
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25	52
工具、器具及び備品（純額）	0	16
土地	293	293
有形固定資産合計	319	361
投資その他の資産		
投資有価証券	41	39
敷金及び保証金	195	190
繰延税金資産	36	27
その他	36	24
貸倒引当金	△50	△35
投資その他の資産合計	260	246
固定資産合計	579	607
資産合計	4,987	4,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	52	68
未払金	189	313
未払法人税等	322	83
未払消費税等	105	69
預り金	13	17
賞与引当金	91	46
その他	14	22
流動負債合計	790	622
固定負債		
資産除去債務	9	9
長期預り保証金	18	18
その他	4	3
固定負債合計	32	31
負債合計	823	654
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	5,814	5,814
利益剰余金	△2,198	△2,069
自己株式	△86	△86
株主資本合計	3,629	3,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	7
その他の包括利益累計額合計	8	7
非支配株主持分	526	510
純資産合計	4,164	4,276
負債純資産合計	4,987	4,931

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
営業収入		
加盟店からの収入	7,283	7,486
その他の営業収入	60	73
営業収入合計	7,343	7,559
売上高	3,161	2,940
営業総収入	10,505	10,500
売上原価	2,333	2,138
売上総利益	828	801
営業総利益	8,172	8,361
販売費及び一般管理費	7,502	7,572
営業利益	670	789
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	0	0
営業外収益合計	3	4
経常利益	674	793
税金等調整前四半期純利益	674	793
法人税、住民税及び事業税	258	273
法人税等調整額	12	9
法人税等合計	271	283
四半期純利益	402	510
非支配株主に帰属する四半期純利益	238	306
親会社株主に帰属する四半期純利益	164	204

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	402	510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△1
その他の包括利益合計	1	△1
四半期包括利益	404	509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166	203
非支配株主に係る四半期包括利益	238	306

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	21百万円	6百万円